

# 自然と共生する 未来をつくる

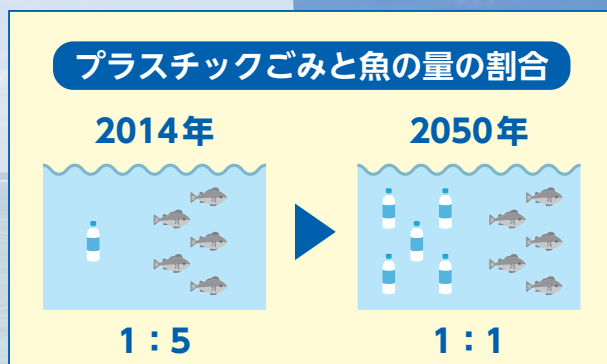
## 海の酸性化

人間の経済活動の活発化により森林伐採で大気中の二酸化炭素の濃度が上昇。温室効果ガスの影響で海水温が上昇し、水産業にも影響が出ています。世界三大漁場の1つとも言われる宮城県三陸沿岸はカキの養殖が盛んですが、海洋調査を進める研究者は「海がどんどん酸性に傾いているので、このままの状態が続けば50年後、いや10年後にはカキの養殖が難しくなるかもしれない…。地元にとって死活問題になる。」と指摘します。海の炭酸イオンとカルシウムイオンが結合して炭酸カルシウムとなり貝殻の成長を促してくれるからなのです。温暖化も酸性化も人間が出す二酸化炭素が原因であることは明確です。



## プラスチック 海洋汚染

世界経済フォーラム報告書によると、毎年少なくとも800万トンのプラスチックごみが海に流出していると考えられています。このままの傾向が続けば、2050年までには海のプラスチックごみの量が魚の量を上回るともいわれます。身の回りの使い捨てプラスチックで使わなくても済むものがないか、暮らしを見直してみましょう。



世界経済フォーラム報告書Figure5を改変

## 里浜がつなぐ未来 今、「里浜」という考え方が注目されています。

「里浜」とは、里山に並ぶ言葉として創り出された言葉ですが、人々の暮らしとの関わりが深い身近な海辺で、利用と自然環境とが共存し、人が管理することによって維持されている海辺のことです。それは、多様で豊かなかつての「海辺と人々とのつながり」を現代の暮らしにかなう形で蘇らせた浜のことを指します。

戦後、防災を最優先の課題と考え、全国の海岸線に整備された護岸や堤防は陸と海との仕切線となり、人間が海に出るのを妨げ、高くそびえる防潮堤は海を見ることさえ出来なくしてしまいました。安全を優先した結果、海辺と人々とのつながりは希薄になってしまったのです。これにより海辺の景観は一変し、供給される土砂の減少等により浜は痩せ、ゴミの散乱等の自然環境も悪化していきました。海辺の豊かな生活を取り戻すためには、一人ひとりが「豊かな浜」の恵みを楽しむ機会を増やすとともに、豊かな海に囲まれた「里浜」に暮らす一員として自覚と責任をもって行動することが必要になります。

「里浜」の保全是、子どもたちに海の素晴らしさを伝え、継承していくことが目的であり、未来の子どもたちにその豊かさを残すという意識が最も大切になります。

© 里浜づくり研究会『「里浜づくり宣言」と「里浜づくり宣言のねらい」』

# Eco & Peace Navigator エコ&ピース ナビゲーター

食材のお届けだけじゃない!  
パルシステム東京の  
社会活動をご紹介します。

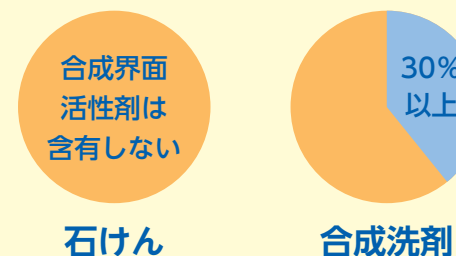
2022年  
6月号  
Vol.32

## 合成洗剤に含まれる 有害化学物質

石けんが天然の動植物の油脂から得られる脂肪酸塩を主成分としているのに対し、合成洗剤は洗浄成分に合成界面活性剤を使っています。合成界面活性剤はPHに関係なく作用し、すすぎなどによって水で薄められても界面活性作用がなくなります。PRTR<sup>(※)</sup>の報告書では、人の健康や動植物の生息もしくは生育に支障を及ぼす可能性があるとしています。

※PRTR制度：化学物質排出移動量届出制度

### 合成界面活性剤の含有割合

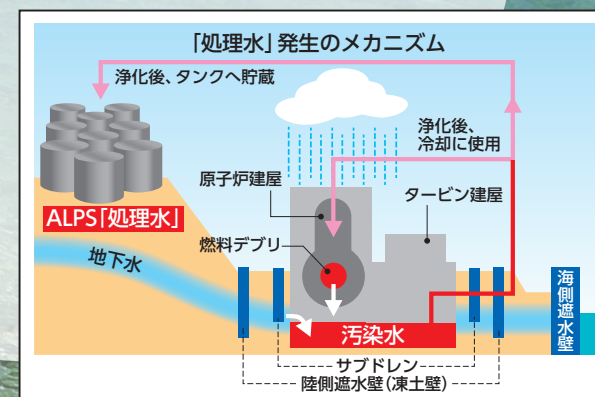


すべての生命の母とも呼ばれる海。地球の表面の70%は海におおわれ、地球にある水の98%は海水が占めています。しかし、その海は今、深刻な問題を抱えています。化学物質による海洋汚染や、砂浜や海中に散乱するプラスチックごみなど…。海が抱えているさまざまな問題について、見ていきましょう。

# 今日も明日も この地球の海で

## アルプス処理汚染水

2011年の福島第一原発事故より発生している汚染水を処理して生まれる、アルプス処理水の海洋放出が問題となっています。このまま海洋放出が行われることになれば、地域経済に大きな影響を及ぼし、震災復興のために払われてきた10年の努力が水泡に帰す大きな懸念があります。また、地域住民や漁業関係者から十分な理解を得ないまま、復旧・復興を無に帰すような決断は容認できるものではありません。



2022.6.26開催「3.11から10年経たない原子力災害」講座資料より  
(講師 FoE Japan 満田夏花氏)



第1回 アースデイ2022 inうらそえ  
～西海岸・里浜ビーチクリーン～ <海没地区>

沖縄県浦添市では初めてのアースデイに関わるビーチクリーン活動を4月24日(日)開催しました。西海岸の3地区同時開催で、多くのボランティアの皆さんが協力して、漂着ゴミを回収しました。

写真提供：一般社団法人うらそえ里浜・未来ネットワーク

〈特別編〉

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

第1回「ジャパン SDGsアワード」受賞

発行日：2022年5月23日  
発行：パルシステム東京 組織政策推進本部



みんなでCO<sub>2</sub> 1000t削減！

～うちエコ診断WEB受診キャンペーン～



最短5分！

## スマホで自己診断！

CO<sub>2</sub>削減しながら節約にも！

キャンペーン期間中(※)に「うちエコ診断WEBサービス」に取り組み、診断結果2点(①年間CO<sub>2</sub>削減量、②年間光熱費削減金額)をフォームより応募した組合員全員に、「エコ・秋田あきたこまち(無洗米)3合」をプレゼントします。



※キャンペーン期間は5月16日(月)～6月24日(金)です。

■問合せ先：パルシステム連合会 環境活動推進室  
Eメール：kankyousitu@pal.or.jp

# 地球温暖化クイズ

初級編

私たちが活動することによって出る温室効果ガスで、最も地球温暖化に影響を与えているものは何でしょう？

①酸素、②二酸化炭素、③水素

中級編

地球温暖化対策で私たちができることとして、当てはまるものは何でしょう？

- ①省エネを心がける
- ②自然の力を利用したエネルギーを選んで使う
- ③夏涼しく冬暖かい家づくりのために、窓や壁の素材を工夫する



上級編

産業革命以前から現在まで、気温は既に1℃上がっています。  
世界共通の目標として何度までに抑える努力が求められているでしょう？

①1.5°C、②2.5°C、③3.5°C

博士編

もし私たちが何も対策を取らなかった場合、シミュレーションでは今後最大何度気温が上昇するとされているでしょう？

①1.8°C、②3.5°C、③5.7°C



参考：地球温暖化防止communicator資料等

この夏 予定している企画！

～ C.W.ニコルが日本に遺した未来～

# 生物多様性豊かな森、 里山の再生

里山の魅力が  
わかる！



■日時：8月20日(土) 10：30～12：30(120分)

■開催方法：オンライン開催

■講師：C.W.ニコル・アフアの森財団 専務理事 野口 理佐子氏

■参加費：無料

■申込について：7月後半に配付する『週刊 WITH YOU』をご覧ください。

■問合せ先：環境推進課 Eメール：kankyo-tokyo@pal.or.jp

## パルシシステム東京は

たいひ

堆肥作り やってます!



## Q 堆肥ってなに？

堆肥とは、落ち葉や家畜の糞尿などの有機物を微生物の力を使って分解させ、肥料にしたものです。堆肥は土壌をやわらかくし、酸素や水分をいきわたらせてくれるので、作物の成長には欠かせません。

## Q どうやって作るの？

冬ごろ、いなぎめぐみの里山にたくさん散り積もった落ち葉を集めて「落ち葉のプール」を作ります。森の微生物が落ち葉を分解・発酵させた後、堆肥として利用しています。



堆肥を利用して作った肥料は、  
里山の野菜がおいしく健康に育つ  
ことに役立ちます。



# 「沖縄」と聞いて思い浮かべるイメージはありますか？

青い海、リゾート？ はたまた基地問題、安全保障？ 日常で接する「オキナワ」情報の繰り返しでいつの間にかイメージが偏ったり固まったりすること。

今号では神奈川県ご出身で牧志公設市場（那覇市）の向かいで古本屋を営み、エッセイストとしてもご活躍中の宇田智子さんに、ウチナー文化や歴史、その奥深さに触れられるおすすめ書籍をお聞きました。「沖縄返還 50 周年」や NHK 連続ドラマなどでも注目される今、沖縄とのつながりをもっと深めてみませんか？



## 沖縄県産本がもつ独特の魅力

沖縄の日本復帰50年を機に、沖縄関連書の出版・復刊が続いている。といっても、沖縄に関する本はふだんから県内外で数多く出版されていて、県内の書店には沖縄本の棚が必ずある。

沖縄の出版社がつくる本は「沖縄県産本」と呼ばれ、年中行事の手引き、沖縄戦の研究書、三線の楽譜、琉球弧の植物図鑑など、ジャンルは多岐にわたる。大半は県内で流通していて、出版社の人が書店に直接納品し、そこから読者へ渡っていく。出版社だけでなく個人や自治体も本をつくっていて、全貌はとても把握しきれない。

県産本の魅力はたくさんある。たとえば、著者と読者の距離が近いこと。読んだ人が出版社を通じて著者に連絡して会ったという話も聞かれ、読んだ人が今度は自分で本を書いて出すこともある。相互に交流できるのはラジオのようだ。また、市史や字誌の刊行もさかんで、地域の風習や民話が細かく記録されていること。こんなに多くのものを先人から受け継ぐことができ、沖縄の人は幸せだ。その幸せを少しおすそ分けしてもらいたくて、私はここで本屋を始めた。

なお、沖縄の出版社から成る「沖縄出版協会」が、県内外でのフェアやイベントを積極的に行っている。  
(<https://okipa.jp/>)

写真：橋本倫史



## ウララ店主 宇田さんのオススメ3冊

### 『つながる 沖縄近現代史』

発行 (有) ボーダーインク  
前田勇樹・古波蔵契・  
秋山道宏 編



いま、県内外で注目されている本。1853年のペリー来琉から、琉球処分、戦争、占領、復帰をへて現代に至るまでを、総勢25名の若手研究者が様々な切り口で書く。基地、差別、貧困など、沖縄が抱えている問題はすべて歴史に端を発していて、日本や外国の動きとも密接に関わっていることがよくわかる。誰にとっても他人事ではない。

ご購入は  
コチラから！



(<https://borderink.com/?pid=164810842>)

### 『チルグーの むんならーし』

発行 沖縄タイムス社  
喜納千鶴子・  
玉那覇展江 著



1923年生まれの「チルグー」(ツルちゃん)が母から伝え聞いた「むんならーし」(教え)。「魂や自分になる あんろー」(心の持ち方は自分以外補うことはできない)といった短い格言に知恵と愛情が詰まっている。本部から那覇に出てきて店を始めた千鶴子さんの、むんならーしに励まされた半生も語られる。なお、千鶴子さんが70年間営んだ商店は今年4月で閉店した。

ご購入は  
コチラから！



([https://shop.okinawatimes.co.jp/photo\\_up/detail/1213917/](https://shop.okinawatimes.co.jp/photo_up/detail/1213917/))

### 『CONTE MAGAZINE Vol.2』

発行 コントマガジン



県外から沖縄に移り住んだ二人の編集者による雑誌。特集「森へ来なさい。」の森は「やんばる」(山原)の森だ。沖縄島北部のやんばるは、森や海に多様な生き物が棲む地域で、世界自然遺産に登録されている。そこに生きる人たちは農業、狩猟、工芸といったそれぞれの仕事と生活を通じて自然につながっている。深呼吸したい人に。

ご購入は  
コチラから！



(<http://contemagazine.com>)



宇田 智子さん

## プロフィールと店舗&WEB紹介

1980年神奈川県生まれ。ジュンク堂書店池袋本店、那覇店勤務を経て、2011年に那覇の市場中央通りで「市場の古本屋ウララ」を開店。沖縄本を中心に、古本と一部新刊を扱う。オンラインストアでは主に県産本の新刊を販売。会員向けに月1回メールマガジンを発行している。  
(<https://urarabooks.stores.jp/>)

著書に「那覇の市場で古本屋」(ボーダーインク)「市場のことは、本の声」(晶文社)など。7月に「増補版 本屋になりたい」(ちくま文庫)を出版予定。



写真：橋本倫史



市場の古本屋ウララ

もつと視野を広げよう！  
沖縄の文化と歴史



おし  
教えて こんせんくん！

上に紹介された「チルグーの むんならーし」の中を少しだけ紹介するよ！

「いいーくうとうやれー さんしゅかー すしまし」

「いいおこないならば、やらないよりやったほうがいいよ」まずは行動することが大事ってことだね！

「いちゃりば ちょーでー ぬー ひだていぬ あが かたてい あしば」

「出会えば人間はみんな同じ。心に隔てなく語り合って、兄弟のように仲よくしよう。」「ちょーでー」っていうのは、兄弟って意味だよ。

